

第 1 学年 道徳科 学習指導案

1 年 2 組 指導者 中 川 穂

単 元 ともだちと あかるく

1 本単元で子供が創出と受容、転移を行う各教科等の本質（見方・考え方）

多面的・多角的に考えること

2 本単元について

道徳科の授業づくりでは、道徳的価値のよさを自覚することに向けて教材提示の方法や発問の言葉、振り返りの時間のもち方を工夫することが一般的であった。そうすることで、子供たちは普段無自覚であった道徳的価値のよさに気付き、よりよく生きようとする意欲をもつことができた。その一方で、学ぶ際に子供たちが働かせている「多面的・多角的に考えること」という見方・考え方について自覚する姿は見取れなかった。そこで、「多面的・多角的に考えること」を自覚していく学習過程を仕組む。子供たち自身が「多面的・多角的に考えること」を自在に使いこなすことができれば、道徳科の授業はもとより、普段の生活の中でも自立した人間として他者とともによりよく生きるためにどうすべきか自ら考えることもできるであろう。

1年生で「多面的・多角的に考えること」とは、様々な人物の立場に立って心情を想像することだと考える。子供たちは教師の促し、発問によって様々な人物の心情を想像し、道徳的価値のよさを考えていく。その中で多面的・多角的な考え方を自覚し、自ら働かせようとする姿をめざしたい。そうすることで、他の道徳的価値について考える際にも、自ら様々な人物の立場に立って心情を想像し、道徳的価値のよさについて考えを深めていくことができるであろう。

そこで、以下のような支援を具体化し、本単元でめざす子供の姿の実現を図る。

- 友達との関わりによって登場人物の心情が揺れ動く教材を連続して扱う。そうすることで、様々な人物の立場に立って心情を想像することができるようにする。【創】
- 友達と明るく過ごすために大切なことに気付いた発言が見られた際に、気付くことができた理由を問う。そうすることで、様々な人物の立場に立って心情を想像するよさに気付くことができるようにする。【受】
- 新たな教材を提示する前に、様々な人物の立場に立って心情を想像するよさを想起するよう促す。そうすることで、自ら様々な人物の立場に立って心情を想像し、道徳的価値のよさについて考えを深めていくことができるようにする。【転】

3 本単元の目標

- 友達と明るく過ごすために大切なことについて、様々な人物の立場に立って心情を想像することができるようにする。
- 様々な人物の立場に立って考えることで、道徳的価値のよさについて考えを深め、人間としてよりよく生きようとする意欲をもつことができるようにする。

4 本単元における評価の視点

多面的・多角的に考える姿	自分自身との関わりで考える姿
○ 様々な人物の心情を想像している。	○ 自分の経験や心情と照らし合わせながら考えている。

5 指導計画（全3時間）

- 第1次 主題「くりのみに込められた気持ち」について話し合う（1時間）
- 第2次 主題「みんな友だち」について話し合う（1時間）【本時1／1】
- 第3次 主題「だまっていれば いいのかな」について話し合う（1時間）

6 本時案 【令和4年10月22日 10:20~11:05 1年2組教室】

(1) ねらい どうすれば明るく過ごせるかについて様々な友達の立場に立って話し合うことをとおして、友達の気持ちを考え、仲よく活動しようとする実践意欲を養うことができるようにする。

(2) 学習過程 ※一重下線は創出、二重下線は受容、破線は転移に対応する子供の意識

学習活動・学習内容	子供の意識	○教師の支援
<p>1 前時までの学びを振り返る。(5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な人物の立場に立って心情を想像すること <p>2 小鳥たちが仲よく過ごすために、大切なことについて話し合う。(30分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達の気持ちを考えること 友達と仲よく活動することのよさ 様々な人物の立場に立って心情を想像すること 	<p>B <u>今日も友達と明るく過ごすために大切なことについて、いろいろな人の気持ちを考えることを大切にしよう。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 今回のお話は「二わの小鳥」だよ。 みそさざいがやまがらの家に行っているから明るく過ごせていたと思うな。 <p>A やまがらが、涙が出るくらい喜んでいるからね。</p> <p>B <u>でも、友達が急にいなくなると悲しくなるから、うぐいすも同じ気持ちになっているかもしれないな。</u></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>どうすればみんなが明るく過ごせるのかな。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> うぐいすの方に行けばやまがらが悲しむけど、やまがらの方に行けば今度はうぐいすが悲しむから難しいな。 <p>B そうだ、やまがらをうぐいすの家に招待して、みんなで誕生日の歌をプレゼントしてはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> そうすれば、うぐいすはみんなと楽しく歌が歌えるし、やまがらもみんなと誕生日が過ごせてにこにこになるだろうね。 友達みんながどんな気持ちなのかと想像することが大切だと思ったよ。 	<p>○教材提示前に、様々な人物の立場に立つよさを想起するよう促すことで、様々な人物の心情を想像できるようにする。【転】</p> <p>○教材提示後、小鳥達は明るく過ごせたかについて様々な立場から考えるよう促す。そうすることで、様々な小鳥の心情を想像し、みんなが明るく過ごすために大切なことを考えることができるようにする。【転】</p>
<p>3 友達と明るく過ごすために大切なことについて話し合う。(10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達の気持ちを考えること 様々な人物の立場に立って心情を想像すること 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>どうして友達みんなの気持ちを想像することが大切だと気付けたのですか。</p> </div> <p>A やまがらの気持ちだけでなく、うぐいすの気持ちからも考えることで、みんなが仲良く過ごせることが分かったからだよ。</p> <p>B <u>やっぱりいろいろな人の気持ちになって考えると、大切なことが分かるのだね。</u></p>	<p>○友達みんなの気持ちを想像することの大切さに気付いた際に、気付くことができた理由を問う。そうすることで、様々な人物の立場に立って、心情を想像するよさを見出すことができるようにする。【受】</p>

7 創る科における子供の学びと本単元との関連

本単元では、単元をとおして「関連付ける力」を発揮していく。様々な人物の心情を考えていく際に、自分の経験とつなげて考えることを大切にしたい。そこで、様々な登場人物の心情を想像している発言がみられた際に、どうしてそう思うのかと問い返していく。そうすることで、子供たちはこれまでの経験を根拠に考えていくであろう。このことは、「友達と明るく過ごすために大切なこと」について自分事として考えを深めることにつながっていくと考える。